

令和6年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22044	事業名	がん検診推進事業		評価分類	A1	
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他()						
	施策体系	施策の大綱	02:健康で生きがいを持てる暮らしの充実		予算科目	会計	01:一般会計	
		基本施策	01:健康づくりの推進と地域医療の充実			款	04:衛生費	
		施策の方向	03:疾病予防と重症化予防の推進			項	01:保健衛生費	
重点プロジェクト	01:「健都さぶり+」プロジェクト		目	01:保健衛生総務費				
事業期間	H 24 年度 ~ R - 年度	主な根拠法令等		健康増進法、新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業				
		担当部署						
		部		健康福祉部				
		課		健康政策課 健康づくりG				

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	健康増進法第19条の2に基づき、健康増進事業を実施し、市民の健康の保持・増進を図ることが求められている。	40歳以上(胃がん・肺がん・大腸がん) 30歳以上女性(乳がん) 20歳以上女性(子宮がん) 50歳以上男性(前立腺がん) 中学3年生(ピロリ菌尿検査)	がん検診の受診促進を図るとともに、がん予防に関する知識の普及及びがんの早期発見・早期治療につなげ、市民の健康保持及び増進を図る。	胃・肺・大腸・乳・子宮・前立腺がん検診を個別検診及び集団検診にて実施するほか、子宮がん検診については、一定年齢の対象者に無料クーポン券等を配布し、受診に必要な検診費用の補助を行うとともに、対象者に個別通知を行い、受診率の向上を図る。また、中学3年生を対象に、希望者については学校健診時にピロリ菌尿検査を実施し、胃がん予防を図る。

年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
③ 事業の実施状況 (P・D)	事業計画	○各種がん検診 ○ピロリ菌検査 ○市民への周知啓発 ・個別通知、クーポン券の送付		○各種がん検診 ○ピロリ菌検査 ○市民への周知啓発 ・個別通知、クーポン券の送付		○各種がん検診 ○ピロリ菌検査 ○市民への周知啓発 ・個別通知、クーポン券の送付		○各種がん検診 ○ピロリ菌検査 ○市民への周知啓発 ・個別通知、クーポン券の送付		
	活動実績 (計画通り実施できたか)	個別検診、集団検診、ピロリ菌尿検査について年度計画どおり検診を実施した。検診事業開始時期に対象者へ検診受診に関する個別通知を行い、胃がん、肺がん、大腸がん検診未受診者に対しては、ナッジ理論を用いた受診勧奨を行った。また、乳がん検診未受診者、子宮がん検診クーポン券未利用者に対しても受診勧奨を行った。		個別検診、集団検診、ピロリ菌尿検査について年度計画どおり検診を実施した。ナッジ理論を用いた受診勧奨として、対象者への個別案内通知と、健康づくりの手引き、広報等での検診案内を実施した。また健康教育実施時に検診の周知啓発を行った。さらに、胃・肺・大腸・乳がん検診未受診者、子宮がん検診クーポン券未利用者へ受診勧奨を行った。		個別検診、集団検診、ピロリ菌尿検査について年度計画どおり実施した。また、令和6年度からは、すべての集団検診にインターネット予約を導入し、検診日を休日を設定することで、受診しやすい環境を整備した。さらに受診勧奨として対象者への個別通知と未受診者への通知を行い、健康教育実施時に検診についての周知啓発を行った。				
計画額	事業費	95,000千円	92,522千円	95,000千円	90,704千円	95,000千円	82,928千円	95,000千円		
		国・県支出金	700千円	1,065千円	700千円	1,020千円	700千円	1,143千円	700千円	
		地方債		0千円		0千円		0千円		
		その他		0千円		0千円		0千円		
		一般財源	94,300千円	91,457千円	94,300千円	89,684千円	94,300千円	81,785千円	94,300千円	
決算額	事業費	87,055千円		89,542千円		81,255千円				
		国・県支出金	1,032千円		1,214千円		1,184千円			
		地方債	0千円		0千円		0千円			
		その他	0千円		0千円		0千円			
		一般財源	86,023千円		88,328千円		80,071千円			
①期間内計画額(R4-7)		380,000千円		②期間外計画額(R8-)		-		①+②総計画額		380,000千円

(令和6年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	82,928千円
次年度への繰越額	0千円

指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
④ 指標 (C)	市民への啓発活動	活動	回	計画値	6	8	10	12
				実績値	6	8	10	
各組織・団体等への啓発活動数	食生活改善推進協議会等の団体への啓発活動	活動	回	計画値	4	6	7	8
				実績値	8	6	7	
がん検診受診率(胃/肺/大腸がん)	国の指針に基づく国民健康保険被保険者の受診率 (胃がん50-69歳/肺がん40-69歳/大腸がん40-69歳)	成果	%	計画値	29.0/25.5/24.0	29.5/26.0/24.5	30.0/26.5/25.0	30.5/27.0/25.5
				実績値	25.2/24.9/26.5	25.9/26.2/26.8	25.0/26.9/27.2	

判定	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
⑤ 成果 (C) A	インターネット予約の導入や集団検診の日程を休日に設定したことで、集団検診の受診率は向上したが、医療機関の休診や閉院に伴い、個別検診の受診率は低下した。全体の受診率としては昨年度と比較して胃がんは低下し、肺がん、大腸がんは向上した。また、ピロリ菌尿検査を市内在住の中学校3年生の希望者267名に実施し、うち7名に1次除菌治療費用助成を行ったことにより、胃がんや胃潰瘍の予防につなげることができた。
十分な成果を得た	

事業の対象	事業の目的
40歳以上(胃がん・肺がん・大腸がん) 30歳以上女性(乳がん) 20歳以上女性(子宮がん) 50歳以上男性(前立腺がん) 中学3年生(ピロリ菌尿検査)	がん検診の受診促進を図るとともに、がん予防に関する知識の普及及びがんの早期発見・早期治療につなげ、市民の健康保持及び増進を図る。

事業の達成状況等を踏まえた課題事項
⑥ 課題 (C)
胃がん検診については、昨年度と比較して受診率が下がっているため、新たな医療機関の確保等の受診環境を整備する抜本的な対策が必要である。一方で、インターネット予約の導入や休日の集団検診の実施したことで、集団検診の受診率は向上しており、今後もこれらの取り組みを積極的に活用し、さらなる受診促進を図る必要がある。

方向性	
⑦ 事業の展開 (A)	
継続(現状維持) 現状どおり事業を継続する	
改善・見直し内容	
令和7年度で対応する(した)もの	令和8年度以降で対応するもの
個別検診について委託先となり取りまとめをしている亀山医師会と協議の上、医療機関に相談をかけ、市立医療センターで、令和7年度から新たに胃がん検診(内視鏡)を個別検診実施医療機関として受診できるよう環境の整備を行った。	市民のがん検診のニーズを調査し、全国的にも胃X線検査の受診者数は減少傾向にある一方で、胃内視鏡検査の受診者数は増加していることから、亀山医師会と協議の下、市民ニーズにあった受診環境の整備を行う。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
⑧ 履歴				
成果判定	A	A	A	
事業展開	継続(現状維持)	継続(現状維持)	継続(現状維持)	

1次評価者	健康福祉部 健康政策課 健康づくりGL 小坂 聡子
最終評価者	健康福祉部 健康政策課長 櫻井 ころ